

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 6 年 9 月 18 日(2024.9.18)

【公開番号】特開 2023-22993(P2023-22993A)
【公開日】令和 5 年 2 月 16 日(2023.2.16)
【年通号数】公開公報(特許)2023-031
【出願番号】特願 2021-128126(P2021-128126)
【国際特許分類】
A 63 F 7/02(2006.01)
【FI】
A 63 F 7/02 320

10

【手続補正書】
【提出日】令和 6 年 9 月 9 日(2024.9.9)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

20

有利状態に制御可能な遊技機であって、
有利状態に制御されることを報知する第 1 結果と有利状態に制御されないことを報知する第 2 結果を表示可能な特定演出を実行可能な特定演出実行手段と、
前記第 2 結果が報知された後に、前記特定演出の演出態様と関連する演出態様である複数の所定画像のうち、一の所定画像を用いた所定演出を実行可能な所定演出実行手段と、
可変表示に関する情報を保留記憶として記憶可能な保留記憶手段と、を備え、
前記特定演出実行手段は、
前記特定演出として、第 1 特定演出と、該第 1 特定演出よりも有利状態に制御される期待度が高い第 2 特定演出と、を実行可能であり、
前記所定演出実行手段は、
前記所定演出として、前記所定画像のうち、第 1 所定画像を用いた第 1 所定演出と、前記第 1 所定画像とは異なる第 2 所定画像を用いた第 2 所定演出とを実行可能であり、
前記第 1 所定演出を実行する場合よりも、前記保留記憶手段に記憶された保留記憶に対応した可変表示において、前記特定演出が実行される割合が高くなるように前記第 2 所定演出を実行し、
可変表示において前記第 1 特定演出を実行する保留記憶が、前記保留記憶手段に記憶されている場合よりも、可変表示において前記第 2 特定演出を実行する保留記憶が前記保留記憶手段に記憶されている場合のほうが、前記第 2 所定演出を高い割合で実行し、
前記第 2 結果が報知された後、前記第 1 所定演出又は前記第 2 所定演出を実行する場合に、第 1 所定音を出力する場合と、第 2 所定音を出力する場合と、前記第 1 所定音及び前記第 2 所定音を出力しない場合とがあり、前記第 1 所定音及び前記第 2 所定音を出力しない場合よりも、前記第 1 所定音又は前記第 2 所定音を出力する場合の方が有利状態に制御される期待度が高い、
ことを特徴とする遊技機。

30

40

【手続補正 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0006
【補正方法】変更

50

【補正の内容】

【 0 0 0 6 】

(A) 有利状態に制御可能な遊技機であって、
有利状態に制御されることを報知する第 1 結果と有利状態に制御されないことを報知する第 2 結果を表示可能な特定演出を実行可能な特定演出実行手段と、
前記第 2 結果が報知された後に、前記特定演出の演出態様と関連する演出態様である複数の所定画像のうち、一の所定画像を用いた所定演出を実行可能な所定演出実行手段と、
可変表示に関する情報を保留記憶として記憶可能な保留記憶手段と、を備え、
前記特定演出実行手段は、
前記特定演出として、第 1 特定演出と、該第 1 特定演出よりも有利状態に制御される期待度が高い第 2 特定演出と、を実行可能であり、
前記所定演出実行手段は、
前記所定演出として、前記所定画像のうち、第 1 所定画像を用いた第 1 所定演出と、前記第 1 所定画像とは異なる第 2 所定画像を用いた第 2 所定演出とを実行可能であり、
前記第 1 所定演出を実行する場合よりも、前記保留記憶手段に記憶された保留記憶に対応した可変表示において、前記特定演出が実行される割合が高くなるように前記第 2 所定演出を実行し、
可変表示において前記第 1 特定演出を実行する保留記憶が、前記保留記憶手段に記憶されている場合よりも、可変表示において前記第 2 特定演出を実行する保留記憶が前記保留記憶手段に記憶されている場合のほうが、前記第 2 所定演出を高い割合で実行し、
前記第 2 結果が報知された後、前記第 1 所定演出又は前記第 2 所定演出を実行する場合に、第 1 所定音を出力する場合と、第 2 所定音を出力する場合と、前記第 1 所定音及び前記第 2 所定音を出力しない場合とがあり、前記第 1 所定音及び前記第 2 所定音を出力しない場合よりも、前記第 1 所定音又は前記第 2 所定音を出力する場合の方が有利状態に制御される期待度が高い、
ことを特徴とする。

10

20

30

40

50